

平成22年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時:平成23年2月25日(水)14:00~17:00
2. 場 所:那覇第2地方合同庁舎2号館2階 災害対策室
3. 出席者:上原委員長、大城委員、金城委員、諸喜田委員、津嘉山委員、下地委員、盛下委員
(欠席:立原委員)

4. 議 事
 - 1)安波・普久川・辺野喜ダムの定期報告書(案)について
 - 2)大保・億首ダムモニタリング部会報告等について
 - 3)その他

5. 主な意見
 - (1)安波・普久川・辺野喜ダムの定期報告書(案)について
 - 0)まとめ
 - 洪水調節の基準断面やダムの位置を分かりやすく明記する。(P6,7,8)
 - 「ダムの有効貯水容量内の堆砂率は数%」の表記については、何がそこに数%になっているか分からない為、表現について再検討すること。
 - 1)事業の概要
 - 「社会資本の高齢化」の記載については一般に分かりやすい表現を検討すること。(P28)
 - 2)洪水調節
 - 特に無し。
 - 3)利水補給
 - 「需要が生じていなかった工業用水」については一般的な表現を検討すること。(P67,68)
 - 4)堆砂
 - 完成直後と比較して、その後の堆砂が減少した理由を調査手法を含めて明確に記載願いたい。(P72)
 - 5)水質
 - 「水質汚濁や水質障害」の記載については、一般に分かりやすい表現を検討すること。(P130)
 - 6)生物
 - ダム湖における鳥類の確認個体数については、注釈等で観察月を入れるよう検討すること。(P150)
 - 外来種の投棄対策として国・県が条例を作るのは困難。地元自治体(村)レベルでの条例整備を働きかけを検討してはどうか。
 - 7)水源地動態
 - ダムの重要性の紹介や体験型イベントをもっと実施することで、ダムに関しての普及啓発に繋がる。
 - 8)その他
 - 米軍提供区域の存在によりダム管理に支障があれば、報告書への反映も必要ではないか。
 - 定期報告書案については、本日の審議を踏まえて修正し、後日、各委員の了承を得て最終版とすることで了解。

(2)大保ダム・億首ダムモニタリング部会報告等について

1)大保ダム

平成22年度モニタリング調査結果の報告と今後のモニタリング調査計画について報告。

○特になし

2)億首ダム

平成22年度モニタリング調査結果の報告と今後のモニタリング調査計画について報告。

○特になし

(3)その他

○その他特になし。